

第 51 回関西財界セミナー 開催概要

1. 期 日 2013 年 2 月 7 日 (木)・8 日 (金)
2. 場 所 国立京都国際会館
3. 主 催 (一社)関西経済同友会、(公社)関西経済連合会
4. 協 力 大阪商工会議所、京都商工会議所、神戸商工会議所
(公財)関西生産性本部、(一社)京都経済同友会、(社)神戸経済同友会
5. メインテーマ 「成長を考え 新たな成長をつくる～次世代に誇れる国・地域のかたちを求めて～」
6. 参加者 関西企業のトップ経営者 200 名を含む 500 名程度。
主要国の領事館関係者も参加

7. 2 日間のスケジュールと分科会の概要

(敬称略)

2 月 7 日 (木)

◇全体会議 [10:00～11:45]

(1)開 会

(2)開会挨拶 大 林 剛 郎 (一社)関西経済同友会 代表幹事

(3)主催者問題提起 森 詳 介 (公社)関西経済連合会 会長

(4)基調講演 自由民主党 総務会長 野 田 聖 子 氏

『これからの日本のやるべきこと』

◇昼 食 [11:45～12:50]

◇分科会討議 [13:00～17:00、2 月 8 日 (金) 午前に続く]

第 1 分科会：新しい資本主義における日本企業のあり方

グローバル化や人口減少等、社会構造が大きく変化するなかで、国民一人ひとりが実感できる「質」を伴った成長を実現するために資本主義をどう進化させるべきか。新しい資本主義のあり方やそこにおける企業の役割に加え、それに根ざした新しい日本型経営といった視点から議論する。

【議 長】

蔭 山 秀 一 株式会社三井住友銀行 取締役専務執行役員

尾 山 基 株式会社アシックス 取締役社長 CEO

【セッション構成・問題提起者】

①新しい資本主義のあり方

②新しい資本主義における企業の役割

③日本流のグローバル経営とは

<問題提起者>

山田 久 株式会社日本総合研究所 調査部長・チーフエコノミスト
水上 武彦 株式会社クレアン コンサルタント
清水 春生 株式会社エクセディ 取締役社長

第2分科会：アジアで勝つ、新・経営力

世界の成長センター・アジアはその潜在力の高さゆえにグローバル企業がしのぎをけ
ずる主戦場となっている。これまで同地域の経済発展に貢献してきた日本企業の存在感
が脅かされかねない状況下で、アジアの成長を自らの成長につなげるために、企業経営
はいかに変わるべきかを議論する。

【議長】

大井 篤 三井物産株式会社 常務執行役員関西支社長
古川 実 日立造船株式会社 取締役会長兼社長

【セッション構成・問題提起者】

①企業に変革を迫るアジアの成長と競争環境

②中国・アジア新興国で成功する戦略・戦術を生み出しているものは何か

③今、求められる経営のイノベーションとは

<問題提起者>

國部 毅 株式会社三井住友銀行 頭取
田谷野 憲 ダイキン工業株式会社 取締役兼副社長執行役員、
大金中国投資有限公司 董事長 総経理
三品 和広 神戸大学大学院 経営学研究科教授

第3分科会：国益を守る外交・安全保障と責任ある政治の再生

外交小国とも揶揄される日本に欠落しているものは何か。外交・安全保障の長期的・
大局的な観点から、アジアの平和と繁栄に向けた日本の役割などについて議論する。企
業経営におけるカントリー・リスクの観点からも議論する。また、政界再編を含む今後
の政治のあり方、新政権の政策対応、統治機構の問題点などについて議論する。

【議長】

小椋 昭夫 バンドー化学株式会社 取締役会長
鈴木 博之 丸一鋼管株式会社 取締役社長

【セッション構成・問題提起者】

- ①日本の外交に欠落しているものは何か
- ②アジアの平和と繁栄に向けた日本の役割 ～中国といかに向き合うか
- ③今後の政治のあり方、新政権に望む ー直面する課題への政策対応

<問題提起者>

春名幹男	早稲田大学・名古屋大学	客員教授
中西輝政	京都大学	名誉教授
曾根泰教	慶應義塾大学大学院	政策・メディア研究科教授

第4分科会：持続可能な経済成長への道筋

東日本大震災を契機に、エネルギーの安定供給の重要性や東京一極集中の脆弱性が改めて認識された。そこで企業の活力や競争力を発揮するためのエネルギー政策や首都機能バックアップなど国の危機管理のあり方、また、地方分権改革による日本・地域経済の再生を議論し、持続可能な経済成長を実現するための国のあり方を探る。

【議長】

大竹伸一	西日本電信電話株式会社	取締役相談役
沖原隆宗	株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ	取締役会長

【セッション構成・問題提起者】

- ①持続的成長を実現するエネルギー政策のあり方
- ②わが国の危機管理と首都機能のあり方
- ③成長戦略としての地方分権改革の推進

<問題提起者>

山本隆三	富士常葉大学	総合経営学部教授
小川和久	静岡県立大学	グローバル地域センター特任教授
上村敏之	関西学院大学	経済学部教授

第5分科会：次世代のための日本 ～若者が自立し躍動する社会に向けて～

若者の内向き志向、所得の減少・貧困化など様々な問題が指摘され、活力と希望に溢れる日本を持続する上で看過できない状況である。今の若者が本当に劣化しているのか、現状を冷静に把握した上で、若者が希望を持ち働ける社会、未来に挑戦する社会の実現に向け課題と解決策を議論するとともに目指すべき「次世代のための日本」像を浮き彫りにしたい。

【議長】

坂上和典	株式会社博報堂	常務執行役員関西支社長
加藤貞男	日本生命保険相互会社	取締役副会長

【セッション構成・問題提起者】

- ①若者の実態とは（就業、所得、価値観、ライフスタイルなど）～マクロの視点から
- ②若者の実態とは（就業、所得、価値観、ライフスタイルなど）～ミクロの視点から
- ③若者の希望を支える社会制度とは
- ④若者の挑戦を後押しする環境づくり
- ⑤若者が躍動する社会を創るための大学や企業、地域の役割

<問題提起者>

原 田 曜 平	株式会社博報堂 若者生活研究室、アナリスト
山 本 絹 子	株式会社パソナグループ 取締役専務執行役員
田 辺 親 男	親友会グループ 会長

第6分科会：Innovate 関西

関西が持つ強みを進化させ、新たな成長につなげるための次なる一手とは。関西の課題と向き合い、関西を国内外から選ばれるイノベーション拠点としていくために、企業（経済界）、大学、行政・国がなすべきことを議論する。

【議 長】

香 川 次 朗	関西電力株式会社 取締役副社長
家 次 恒	シスメックス株式会社 取締役社長

【セッション構成・問題提起者】

- ①かわる関西、かわらない関西
- ②関西の次なる一手
- ③誰がイノベーションを起こすのか

<問題提起者>

牧 村 実	川崎重工業株式会社 常務執行役員技術開発本部長
本 田 幸 夫	大阪工業大学 工学部ロボット工学科客員教授、 大阪大学 医学部招聘教授
校 條 浩	ネットサービス・ベンチャーズ マネージング パートナー

◇交 流 会 [17:10～18:00]

2月8日(金)

◇分科会討議 [9:00～12:00、前日より継続]

◇昼 食 [12:00～13:10]

◇全体会議 [13:20～16:10]

(1) 関西財界セミナー賞 2013 贈呈式

(2) 特別講演 宇宙飛行士、(公財)日本宇宙少年団 アドバイザー 山崎 直子 氏
『宇宙、人、夢をつなぐ』

(3) 分科会議長報告

(4) セミナー宣言採択 鳥井 信吾 (一社)関西経済同友会 代表幹事

(5) 顧問団代表所感 佐藤 茂雄 大阪商工会議所 会頭

(6) 閉会挨拶 森 詳介 (公社)関西経済連合会 会長

◇懇親パーティ [16:20～17:20]

以上